

# 視点

# 写真講座

2016・第41回「視点」  
写真作品募集  
受付〆切 3月8日  
応募要項は  
JRP・視点事務局へ

会場 JRP/ 現研教室 受講料 1000円 主催 /JRP・視点委員会

## 「伝えたいことを真っすぐに」 またはテーマを見つけるために



東京生まれ。68年「炭鉱くヤマ」で第5回太陽賞受賞。95年「無限抱擁」で日本写真協会賞年度賞、写真の会賞を受賞。98年「ナージャの村」で第17回土門拳賞受賞。13年「屠場くとば」「上野駅の幕間」新装改訂版で日本写真協会賞作家賞を受賞。

本橋成一 12月7日(月) 6:30~8:30

「ものをつくる」ということ、それはまず自分自身が面白がれるテーマを選ぶことから始まるのではないのでしょうか。風景や人物でも、花や動物でも、社会問題でも、いま自分が一番に面白いと思うものを写してみます。きれいなもの、嬉しかったこと、悲しかったこと、怒っていること、そして伝えたいことを写真で真っすぐに表現してみましょう。そこには、写したいものに対するあなたの想いがきつとあるはずなのです。(選考委員のメッセージ)

本橋成一監督作品・映画「アラヤシキの住人たち」ダイジェスト版の上映もあります

## 組写真のレッスン 写真を見る力と構成する力を



1936年千葉市生まれ。農村問題などを通して日本社会の姿を追いつつ、1992年から中国の改革開放政策による変貌を追っている。伊奈信男賞など受賞。写真集『一生懸命の時代』など多数。JPS 会員、JRP 代表理事。現代写真研究所所長

英仲三 1月23日(土) 2:00~5:00

自分が撮影した写真をテーマに沿って組写真に構成するのは、とても苦労するものです。ところが、第三者が撮った写真を客観的に見ると、自由な写真の組み合わせによる展開の仕方に面白さを感じることが出来ます。本講座では事前に既刊の「視点」写真集を教材としてお渡しして、掲載された多くの写真で新たにテーマを設定し、組写真を作成するレッスンを行ないます。一枚一枚の写真に何が写っているかをしっかり読み取り、写真と写真の衝突で新たな効果を生み出しながら、テーマと調和させて写真を組む「組写真のレッスン」です。

## 路上スナップのすすめ 路上にはすべてがある



1994年より毎年ベルクギャラリーにて写真展を開催。個展『日計り』『ETWAS』『新宿ダンボール村』『置いてけぼりの時刻』等多数。著書『日計り』『新宿駅最後の小さなお店ベルク』『新宿ダンボール村』『食の職』(ちくま文庫)など。新宿ベルク副店長

迫川尚子 2月6日(土) 2:00~5:00

どんなテーマだろうと一瞬を捉えるのが写真。家族の写真も自然も物も。目の前を通り過ぎていく時間は止められない。止められるのは写真家だけ。その瞬間から全ては過去になり、悲しみも寂しさも愛おしくなる。誰も気づかないものに目を向け、街の片隅に眠っているモノたちに命を吹き込む。それはあなたの宝物になるでしょう。路上に出てスナップしよう。今回は新宿の写真を中心に、未公開のお宝写真もお見せします。ご質問もぜひ。写真持参歓迎。一緒に写真の話をしましょう。

## 「視点」応募なんでも相談会 組か単か?プリントは?タイトルはどうか?



1945年 長崎市生まれ。横浜市在住。写真集「長崎・照射の夏」「鎌倉景」「パリ漫步景」「写真記録・戦後労働運動の軌跡」(編集) 公募展「視点」努力賞・奨励賞・視点賞受賞、JPS 会員、JRP 理事 現代写真研究所講師

尾辻弥寿雄 2月14日(日) 2:00~5:00

「応募票の作成の仕方から作品決定」まで、あらゆる悩みの解決するため「なんでも相談会」を開きます。毎年選考委員から指摘されるのが、「組写真の枚数が多い」ということと「タイトルがなあ〜」ということ。原因は、応募者が作品を絞り切れずつい枚数が増えてしまうことです。また、タイトルは、作品に何が写っているかということを吟味しないまま、願望で付けてしまうことにあります。小さな悩みから大きな悩みまでなんでもご相談ください。

受講申し込み書 受講希望の講座名の前に○印して(複数可) FAX または郵送、持参を。

氏名 所属(任意) 連絡先